

『継続の大切さ』 ～ 隙間を埋め 苦しみを和らげる ～

2025 年 11 月 18 日 筆者は『新渡戸稲造記念センター』に寄り、【第 130 回『がん哲学外来メデイカル・カフェ@よどばし』】(淀橋教会に於いて)に赴いた(画像)。大変有意義な貴重な時であった。『継続の大切さ』を痛感した。その後、【2025 年度第 7 回 順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会】に出席した。【『純度の高い専門性と社会的包容力』を備えた倫理委員会』】は、今回も大切な勉強の機会となった。

【クボタショック(2005 年)から 20 年 わすれたらあかん! アスベスト被害を】の No. 106 号『尼りかん』が送られてきた。筆者の【クボタショックから 16 年】(2021 年 6 月 26 日)(兵庫県尼崎市の小田南生涯学習プラザ)での講演『コロナと石綿と“こころ”』(画像)の写真が掲載されていた。筆者は、クボタショックの 2005 年、順天堂大学で『アスベスト・中皮腫 外来』を開設する機会が与えられた。そして、2008 年、順天堂大学で『がん哲学外来 = 患者さんや そのご家族と面談し、苦しみを和らげる』が開設された。『医療者と患者の隙間を埋める = First Contact Team = がん哲学』の時代的要請を痛感したものである。

最近、筆者は講演会で『なぜ、がん哲学外来を始められたのですか?』と質問されることが多い。【2005 年、いわゆる『クボタ・ショック』の時、『アスベスト・中皮腫外来』を順天堂大学病院で始めました。問診と中皮腫の説明を一人 30 分程度行いました。患者さんの声に耳を傾けて、言葉で対応した経験が、『がん哲学外来』につながるのです。2008 年『がん哲学外来』を順天堂大学病院で開設しました。】と何時も さりげなく答える。

2025 年 11 月 17 日飯田智子氏の主催『寅さんメデイカルカフェ リアルおしゃべり Café』(柴又駅の高木屋老舗 本店に於いて)の講演会に赴いた。飯田智子氏には、『リサーチナース』として 2005 年から始めた順天堂大順天堂医院『アスベスト・中皮腫外来』の看護師としてお手伝いをして頂いた。講演会では、筆者の既刊の複数の本を読まれ、『樋野語録』として一つ一つ選択され、参加者の皆様にプレゼントとして配布された(画像)。ただただ感謝である。

がん哲学外来 メディカル・カフェ@よどばし

がん哲学外来とは、
がんと告知されてから、あなたが考える
「悩み・不安・想い・願望」などを
直に聴いて「解消できる道」を一緒に探し
「医療の隙間」を埋める活動です。
がんを患うご本人だけでなく、
支えられている家族の方々の相談も行います。
今や世界的にも注目されている
「がん哲学外来 メディカル・カフェ」
是非どなた様も、お気軽にご参加ください。

がん哲学外来 メディカル・カフェ@よどばし
ミニ講演とカフェタイムを組み合わせた
短縮プログラム

2025

1月 21日(火) 13:30～15:00
2月 4日(火) 13:30～15:00
3月 11日(火) 13:30～15:00
4月 8日(火) 13:30～15:00
5月 13日(火) 13:30～15:00
6月 10日(火) 13:30～15:00
7月 6日(日) 13:30～15:00
メディカル・カフェ@よどばし 11周年記念
8月 5日(火) 13:30～15:00
9月 9日(火) 13:30～15:00
10月 14日(火) 13:30～15:00
11月 18日(火) 13:30～15:00
12月 2日(火) 13:30～15:00

恵泉女学園理事長
順天堂大学 名誉教授
新渡戸記念中野総合病院 新渡戸稲造記念センター 長
一般社団法人がん哲学外来理事長
ひの おきお
樋野 興夫 先生



会費無料
(自由献金がかります。)

※講師のご都合で日程が、また感染症対策の状況でプログラムが変更されますので、
事前に日程を今一度ご確認ください！個人面談の予約は3日前までをお願いします。

【専用サイト】
<https://yodobashi-church.com/new/blog/local/medicalcafe/opening-3> E-mail: yobashi@church.email.ne.jp
ウェスレアン・ホーリネス教団 淀橋教会 <https://yodobashi-church.com>
169-0073 新宿区百人町1-17-8 Tel: 03-3368-9165

“クボタショック”から16年

アスベスト被害の 救済と根絶をめざす 尼崎集会



日時：6月26日(土)
午後1時～3時

場所：小田南生涯学習プラザ ホール
(JR尼崎南側線沿い東へ5分、ヤンマー工場手前)
Tel 06-6413-8171

参加：100名まで、必ず事前申込みで

- ◎尼崎市アスベスト検診について
- ◎クボタ周辺被害の現状と石綿救済法
- ◎建設アスベスト最高裁判決、原告は訴える
- ◎患者・家族、遺族からの報告
- ◎特別報告「コロナと石綿疾患と“こころ”」

(がん哲学外来の樋野 興夫 順天堂大医学部教授(病理・腫瘍学))

石綿によるがんは病状がきびしい、そこへコロナ禍の不安がのしかかる、さらに入院すると
身内ともほとんど会えない—この苦しみをどう乗り越えて、自分なりの人生を生きるのか

集会参加申し込みは Tel・Fax 06-4950-6653
メール a4p8bv@bma.biglobe.ne.jp

主 催：アスベスト患者と家族の会 連絡会 尼崎・東海支部／尼崎労働者安全衛生センター
後 援：尼崎市

